



# 木童通信 vol.15

平成20年6月発行

木童 東京ショールーム

open 月～金 10:00-18:00 ± 11:00-17:00  
close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)  
東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ1F

TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126  
URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

## ★不連続シリーズ 木のうんちくと知識 第二弾「くり」



第一弾では「杉」の話をしました (vol.13参照)。日本人にとって最も馴染みのある針葉樹が杉・桧だとすると、広葉樹では「栗」と言えるでしょう。という訳で第二弾はクリについて書きます。

クリはブナ科に属する落葉広葉樹。クリと聞くと通常思い浮かぶのが『食べる』ためのクリの実。そう、日本人は昔から食用としてクリを植えており、それに加えクリは建築用としても優秀な材料でした。重厚で強く粘り強い、そして芯材の保存性が優れているといった長点を備えています。縄文時代の遺跡である青森の三内丸山遺跡はクリの基礎で造られ、そして現存しています。また鉄道の枕木として防腐剤無しで随一認められた材でもあります。それほどクリの耐水性、対腐朽性は優れているのです。これは『タンニン』という成分がたくさん含まれるため、その特性から古くより住宅にて土台や外部にクリが使われました。



↑クリの原木の山。冬期に伐採したモノが選別されています

⇒説明してくれた中川原社長。ちなみにこの丸太は家具用。

5月半ば、木童スタッフ3名が岩手の森を訪ねました。岩手の山はくりと赤松が大半です。製材所の社長の後に続いて、土場に山のように積まれた原木の中から、床用に選ぶ丸太を検品します。クリは木目がはっきりしている為、仕上げの色や目合いの違いが現れ、また曲りや割れも出やすい材料なので原木の選定はとても大事な作業です。



次に加工場の方に移動し、こちらでも大事なポイントである乾燥工程をチェック。きれいに積み重ねられた原板を乾燥機の中に入れ、一旦含水率5~6%程度にまで落とし\*9~12%程度に戻し、1ヶ月以上養生します。落ち着くよう調整。動きが著しい板ははねられ、最終的に約5割が製品になります。こうして選ばれた板のみが“木童の南部くり(床材)”となるのです。「床暖房に使用しても納得」の精度を保つための努力は、見えぬ所でしっかりと行っています。

\*とっても重要なpointです。この工程で水分傾斜を止めて、平衡含水率に整えています。材が安定します。

### 次世代へつなげるために・・・

クリの植林9年目の森です。地元の子供達も植え、枝打ちを手伝います。これも広い意味での木育もくいく(※vol.14参照)ですね。森の頂での青空教室を終えたら、みんなでバーベキュー。再生出来る資源の大切さを学びながら、楽しい思い出が次の森林の育成になることを祈って...



## ★藤森照信氏+大嶋アトリエの住宅～杉の構造材、製品検査～



★コッパーハウス模型(提供:大嶋アトリエ)

木童のスタッフにもファンがいる「タンポポハウス」や「ニラハウス」の藤森照信教授の住宅の建築が始まります。実施設計を担当する大嶋アトリエの大嶋氏とスタッフの森本さんと共に、構造に選んだ宮崎の材を検品に行ってきました。乾燥技術レベルの高さと真摯な木材選定に高い評価を頂きました。

今までも、からパネルやとどパネル等を木の上の茶室などで使用して貰っていたのですが、今回は「ハウルの動く城」のような住宅に構造材から床壁材まで使ってもらえます。製材所の人にも図面を見てもらったのですが、「何?これ?」という反応も面白く、このような楽しめる物件に関われることに喜びを感じています。



▲含水率を計測する大嶋氏

## ★ザ、プロフェッショナル 木に自然塗料で、色をつける



●樹種(材料)・使用場所の確認:木や木地によって浸透する量が違うため仕上がりも大きく変わります。また、床・壁・テーブル等でも使用する塗料や塗り方が変わる事があります。

●塗る:まず、イメージを教えてください。この床材は、少し年数の経った檜の床材をイメージしたものです。着色塗料に透明タイプを多く入れ、実際に使用する北海道産の檜材(w120m/mの節有り材)に

●2~3種類塗装した見本板を作成し、それを元に塗装しました。

床は道産ナラ・階段はタモ、木によって着色が違ふ事が解る。(※ここで鉄則です!実際に塗装する材と同じものに試し塗りをすること。)

●拭き取る:基本はメーカーの仕様書ですが、木によって浸透が違います。塗り過ぎた場合、目も当てられない状態になることがあります。濃く仕上げたい場合は、塗り重ねるか、もしくは木地の状態の時に浸透しやすいようにしておくかのいずれかです。★木童のスタッフは木の仕上げ方についてもこういった助言が出来ます。ご相談下さい。

●色を塗る事:建築家や住まい手にとって、床や家具の色は、その家の満足度を高める重要な点だと思えます。しかし、ほとんどの濃い色の樹種は伐採禁止の違法輸入木材です。(工場は合法でも集まる木は出所不明です)昔から日本では、木の船や橋やお寺に色を塗り、保護して来ました。「木をデザインする為の着色」をお手伝いします。

## ★ザ、プロフェッショナル 椅子型継手仕口模型“継ぐ蔵”

伝統工法での家づくりを続けている埼玉県久喜市の工務店・(株)和田工芸さん作の18種もの継手が隠された仕口模型です。「蟻継ぎ」「鎌継ぎ」「金輪継ぎ」「追掛け大栓継ぎ」...等、実際の家づくりで使われる継手を、名前で聞くだけでなく、実際の形や組み方をパズル感覚で見えて覚えることが出来ます。1本の柱だと思っていた箇所が「尻挟み継ぎ」なんて名前の継手で組まれていることを発見したり...オモシロイ!単純に、見えている方向に力を加えてもびくともしないのに、少し角度を代えて力を加えると解体が可能になる。考えた昔の大工さんを本当に尊敬します。何度でも繰り返し解体と組立ができるのも一つの特長。職人が2週間以上かけて、墨付け刻みをした作品なので少し価格は高くなってしまいますが、設計事務所や工務店さんでスタッフの教育にいかがでしょうか?展示会等のイベントでの目玉にもなりますよ!!



▲60個以上の細かいパーツを組上げると椅子型に。もちろんちゃんと座ることができます。▼



※要問い合わせ

### 木童NEWSラインナップ

- 第47回企画展 6/2(月)~7(土) 木の家大すきの会 7日(土) 13:30~16:00 セミナー「迷いませんか?建替えか、リフォームか!」講師:中村展子氏
- 第48回企画展 6/9(月)~28(土)「旭川家具若手作家」展(詳しくは同封資料をご参照下さい)
- 第49回企画展 6/30(月)~7/5(土) 木の家大すきの会 最終日 13:30~セミナー予定
- 第50回企画展 7/7(月)~26(土)「WAKU WORKS」展
- 国産クルミ・朴の床材を作ります。巾は90.(120).150mm。優しい雰囲気のある広葉樹です。近々サンプルが出来上がります。サンプル請求大歓迎!!
- ニューハウス出版のHPトップより木童ブログにアクセスできるようになりました。
- 木童通信をHPよりダウンロードできるようになりました。バックナンバーをご希望の方、お知り合いに宣伝して下さる方、ぜひご利用下さい。(郵送中止をご希望の方はご一報いただければ幸いです。)